

J.LEAGUE NEWS



J.LEAGUE

編集・発行
社団法人 日本プロサッカーリーグ
ホームページ <http://www.j-league.or.jp>

スポーツで、もっと、幸せを届け。Jリーグ百年構想

Vol. 153

31.Oct.2008

Will Be
J.LEAGUE



初のACL決勝進出を決めた準決勝第2戦後、ファン・サポーターと喜びを分かち合うG大阪の選手たち

©J.LEAGUE PHOTOS

G大阪が初のACL 決勝進出を果たす

Jクラブの連覇、TOYOTAプレゼンツFIFAクラブワールドカップ ジャパン 2008出場権獲得を目指す

ガンバ大阪がAFCチャンピオンズリーグ(ACL)2008の決勝進出を果たし、昨年の浦和レッズに続くJクラブのACL2連覇を目指す。ACL史上初の日本勢対決となったG大阪と浦和の準決勝は10月8日に第1戦が行われ、1-1の引き分け。同22日の第2戦に3-1の勝利を収めたG大阪が対戦成績を1勝1分とし、初の決勝進出を成し遂げた。共に初めての決勝を戦うアデレード・ユナイテッド(オーストラリア)とのホーム&アウェイによる対決は、11月5、12日に予定されている。優勝チームはAFC(アジアサッカー連盟)を代表して、12月に日本で開催されるTOYOTAプレゼンツFIFAクラブワールドカップ ジャパン 2008に出場する。

J.LEAGUE OFFICIAL SPONSORS

Calbee

Canon

KONAMI

AiDEM

マイラン製薬

Leopalace21

plenus

NETWORK PARTNER

J.LEAGUE 100 YEAR VISION PARTNER

J.LEAGUE BROADCASTING PARTNER

LEAGUE CUP SPONSOR

J.LEAGUE ALLSTAR SOCCER SPONSOR

SUPER CUP SPONSOR

EQUIPMENT SUPPLIER

J.LEAGUE OFFICIAL SUPPLIER



朝日新聞

アスカバー!

ヤマザキナビスコ

JOMO

FUJI xerox

molten
For the real game

Johnson & Johnson

大会 Jクラブが2年連続のACL決勝進出

G大阪がACL初優勝をかけて、アデレード・ユナイテッドと対決

鹿島アントラーズ、ガンバ大阪、そしてディフェンディング・チャンピオン浦和レッズという3つのJクラブが、準々決勝に出場したAFCチャンピオンズリーグ(ACL)2008。鹿島はアデレード・ユナイテッド(オーストラリア)に惜敗した

が、G大阪と浦和は勝ち抜いて準決勝で対決した。

G大阪のホーム、万博記念競技場で行われた第1戦は、浦和がMF細貝萌のゴールで22分に先制。後半はG大阪が主導権を握り、81分にMF遠藤保仁がPKを決めて同点に追いついた。

埼玉スタジアム2002へ舞台を移した第2戦は、ホームの浦和が36分にFW高原直泰の得点でリードし、この時点で2試合合計スコアを2-1とし優位に立った。だが、G

大阪は後半、得意とするリスタートのプレーを生かし、遠藤の右CKから51分にDF山口智、72分にMF明神智和が決めて逆転。76分には見事なパスワークから、遠藤がダメを押した。

対戦成績を1勝1分、2試合合計スコアを4-2として準決勝を突破したG大阪が、決勝で対戦するのはアデレード・ユナイテッド。11月5日の第1戦は、G大阪のホームゲームとなる。西野朗監督は「ここまで来れば、日本の代表として(優勝)カップを持ち帰らなければいけない」と、初優勝、そしてJクラブとしての2連覇に向けた抱負を語った。

アジアのクラブ王座を決める大会がACLと改称した2002年以来、日本のチームはしばらくグループステージ敗退が続いたが、昨年、今年と出場したチームがすべて準々決勝に進出。日本サッカー協会との協力によって昨年から始まり、アウェイゲームの支援などを目的とした「ACLサポートプロジェクト」の成果が実った快挙ともいえるだろう。



©J.LEAGUE PHOTOS

準決勝第2戦、G大阪の山口(右端)がヘディングシュートを決める

選手登録

AFC加盟国選手の選手登録枠(アジア枠)を創設

現行の外国籍選手在籍、出場枠に加えて新たに。適用は2009シーズン以降

Jリーグは、Jリーグのゲームレベルの向上、アジア地域における新たな事業的可能性の開拓、そしてアジアサッカー連盟(AFC)加盟国、アジア地域との国際交流、貢献の推進を目的として、現行の外国籍選手在籍、出場枠の3人枠に加え、新たにAFC加盟国選手1名の登録枠(以下、アジア枠)を創設した。

現在、プロA契約を締結した外国籍選手は、1チームに3名(「3名枠」)まで保有できているが、この枠の中にはAFC加盟国の出身選手も含まれている。新たなアジア枠は、従来の3名枠と同時に試合へ出場することを可能にする。例えば、3名のブラジル人選手と1名の韓国人選手が、同時にピッチ

に立つことができるわけだ。

これによって、アジア諸国の優秀な選手たちがJリーグでプレーする道が広がり、リーグ戦のレベルアップが期待できる。また、彼らの出身国において、Jリーグへの関心が高まることも見込まれる。アジア全体の人的交流、サッカーを通じた国際交流の活性化につながるアジア枠の創設は、画期的なステップといえるだろう。なお、アジア枠の適用は来季、2009シーズンからの予定。

アジア枠導入後の登録数について

選手種類	現行	導入後	備考
プロA選手	25	25	25名には外国籍選手、アジア枠選手を含む。
外国籍選手	3	3	
アジア枠	—	1*+1 or 0+2	プロCもしくは20歳未満の外国籍選手については、AFC加盟国、その他の国の選手にかかわらず、最大2名まで登録可能。
プロCの外国籍選手、 20歳未満の外国籍選手	2		
出場可能数	3	3+1*	
最大在籍数	5	5	

*=アジア枠数

- ・現行の日本サッカー協会(以下、JFA)のプロ契約制度(A契約25名枠と外国籍選手登録5名枠および、JFA基本規程69条※に定める事項)は維持する。
- ・アジア枠の選手は、外国籍選手と同時に出場することを可能とする。
- ・アジア枠の運用とC契約の外国籍選手、20歳未満の外国籍選手の運用については、クラブにより選択可能とする。
- ・JFA基本規程69条※に該当する選手については外国籍扱いとならないため、上記表には含めず。
※JFA基本規程69条(外国籍扱いしない選手)／参考資料:「プロサッカー選手に関する契約・登録・移籍について」



©J.LEAGUE PHOTOS
アジアの優秀な選手のJリーグでプレーする機会がさらに広がる。写真はヴィッセル神戸の韓国人選手、金南一

大会

広島がJ2リーグ戦優勝

史上最速の決定。J1リーグ戦への昇格条件の一つをクリア

J1リーグ戦の首位争いが激化している終盤戦だが、J2リーグ戦ではサンフレッチェ広島が早々と優勝を決めた。

開幕以来、一度も首位の座を明け渡すことなく、まさに独走といえる好調を維持した広島は、まず9月23日の第37節、愛媛FCをホームで4-1と下し、J1への昇格条件の一つとなる2位以内を確定。続く同28日の第38節、アウェイでセレッソ大阪を3-2と破り、J2の優勝が決まった。

2004シーズンの川崎フロンターレが10月2日にJ2優勝を決めているが、それを更新する最も早い時期の決定となった。

チームを優勝に導いたペトロヴィッチ監督は「選手同様にうれしい。このチームの監督であること、選手たちを誇りに思う」と喜びのコメント。Jリーグの鬼武健二チェアマンも「来年はサッカー王国のサンフレッチェ広島の復活を、J1の舞台で示してほしい」と期待を述べた。



鬼武チェアマンからJリーグ杯を授けられたキャプテンの佐藤

地域密着

Jリーグホームタウン会議を開催

静岡県磐田市における小中学校校庭の芝生化の取り組みも視察

Jリーグは10月7、8日の2日間にわたり、静岡県磐田市において「Jリーグホームタウン会議」を開催した。Jクラブのホームタウン担当者が一堂に会し、ホームタウン活動についての話し合いを行う会議は今回、芝生化についての事例を実際に視察し考察を深める目的もあり、小中学校校庭の芝生化へ積極的に取り組む磐田市での開催となった。

1日目のプレゼンテーションでは、磐田市が主導する芝生化の意義について、同市生活文化部スポーツまちづくり推進課の永田幸義課長が説明。同市から芝生の整備を委託されている磐田市振興公社体育振興課の神谷信行主任技師は、芝生化の手法などについての詳細な解説を行った。

翌日は参加者全員が、市内の小中学校を

視察。校長や教頭などから実際の芝生の維持管理、効用などについての話を聞き、参加者は地域ぐるみで芝生への愛着、重要性が高まっていることを実感した。参加者による熱心な質問も目立ち、それぞれのホームタウンで今回の会議や視察で得た知識、情報を生かしながら、芝生化の推進に貢献することが期待される。

準加盟

Jリーグ準加盟を目指すクラブ向け「Jリーグセミナー」

クラブ経営にかかわる実践的な内容についての講演などが行われる

Jリーグは10月18、19日の2日間にわたって、Jリーグ準加盟を目指すクラブの関係者を対象とする「Jリーグセミナー」を開催した。このセミナーは、日本サッカー協会とJリーグが2006年3月から募集を開始した「Jリーグ準加盟クラブ」への申請を予定しているクラブ関係者を対象に、ホームタウンのあり方、プ

ロサッカークラブの経営、事業関連などの情報をJリーグから提供し、より良い準備に役立てもらうために企画したもの。

Jリーグの鬼武健二チェアマンの「47都道府県に広く、たくさんのクラブができることを期待している。その中から世界に届くようなクラブをつくりたい」といった基調講演で始まった

セミナーでは、「サッカークラブの財務」「マーチャンダイジング／プロパティ」「スポンサーシップ」など、各分野に精通した講師が具体的な内容に及ぶ講演を実施。翌日はアルビレックス新潟の中野幸夫 代表取締役社長による「アルビレックス新潟の歩み」と題する特別講演も行われた。

専門委員会委員選任について

Jリーグは、Jリーグ法務委員会委員に日比谷パーク法律事務所 弁護士の野宮 拓（のみや たく）氏を選任した。なお、Jリーグ法務委員会委員長および委員は以下のとおり。

*敬称略／五十音順、※=新任

	氏名	所属
委員長	池田 正利	池田法律事務所 弁護士
委員	小竹 伸幸	(株)博報堂DYホールディングスグループ 法務室長 兼 (株)博報堂法務室長
	田川 貴浩	田川総合法律事務所 弁護士
	野宮 拓※	日比谷パーク法律事務所 弁護士

「百年旅行～明日へ紡ぐメッセージ」好評放映中

豊かなスポーツ文化の醸成という壮大なプロジェクトを担うさまざまな人々を通し、「Jリーグ百年構想」のメッセージを伝える。

■放送局：BS日テレ ■放送時間：毎週金曜日 22:30～23:00

功労選手賞について

Jリーグは10月21日に開催された理事会において、元Jリーグ選手の秋田豊氏、名良橋晃氏、黒崎久志氏および山口素弘氏に対し功労選手賞を表彰することを決定した。表彰式は、12月22日に開催される2008 Jリーグアウォーズの中で実施される。

1. 秋田 豊（あきた ゆたか） 1970年8月6日生（満38歳） 出生地：愛知県 ポジション：DF（所属クラブ）1993～2003年 鹿島アントラーズ、2004～06年 名古屋グランパスエイト、2007年 京都サンガF.C.

2. 名良橋 晃（ならはし あきら） 1971年11月26日生（満36歳） 出生地：千葉県 ポジション：DF（所属クラブ）1992～93年 フジタサッカークラブ、1993～96年 ヘルマール平塚、1997～2006年 鹿島アントラーズ、2007年 湘南ベルマーレ

3. 黒崎 久志（くろさき ひさし） 1968年5月8日生（満40歳） 出生地：栃木県 ポジション：FW（所属クラブ）1987～92年 本田技研、1992～97年 鹿島アントラーズ、1998～99年 京都パープルサンガ、2000年 ヴィッセル神戸、2001年 アルビレックス新潟、2002～03年 大宮アルディージャ

4. 山口 素弘（やまぐち もとひろ） 1969年1月29日生（満39歳） 出生地：群馬県 ポジション：MF（所属クラブ）1990～92年 全日空サッカークラブ、1992～98年 横浜フリューゲルス、1999～2002年 名古屋グランパスエイト、2003～05年 アルビレックス新潟、2005～07年 横浜FC